

NCGM 国際医療協力局の専門家、藤田則子医師が 世界産婦人科学会連盟より「世界の低～中資源国で活動する 女性産婦人科医」として表彰されました

NCGM 国際医療協力局の藤田則子医師が、世界産婦人科学会連盟の世界会議(カナダのバンクーバーで10月4～9日開催)において「世界の低～中資源国で活動する女性産婦人科医賞」を受賞いたしました。

世界125か国の産婦人科学会の連盟である世界産婦人科学会連盟は、女性の生涯を通じて心身ともに健康を増進させることを目指し、世界各国産婦人科医の職能団体である学会の学術・社会活動の交流促進を図っています。

この賞は、世界の低～中資源国で活動する女性産婦人科医の中で、学術的に女性、母と子どもの健康促進に貢献したものに与えられるもので、これまでに世界で107名(うち日本人2名)が受賞しています。



カナダ(バンクーバー)での受賞時



表彰状



カンボジアでの活動の様子

藤田医師 略歴

1983年東京医科歯科大学医学部卒業、産婦人科医師として研修を開始し、日本産婦人科学会に加入。国内の様々な病院で臨床医として勤務しながら研究を続け、1995年医学博士。1997年からは、開発途上国の母子保健を改善させる活動に転じ、以後カンボジア、アフガニスタン、コンゴ民主共和国など、いわゆる紛争後国家の現場で活動を続けている。また2012年からは日本-カンボジア産婦人科学会の懸け橋として両国の発展のために活動している。

藤田医師が中心となってまとめたテクニカルレポート

「保健人材開発システム分析モデルと開発途上国における活用」

http://ncgmimcj.ec-net.jp/HP/library/tech_doc/tec04_2013.pdf

藤田医師出演ラジオ番組 ラジオ NIKKEI 第一 (オンデマンド 14分21秒)

グローバルヘルス・カフェ第3回「国づくりは人づくり～保健人材について」

<http://www.radionikkei.jp/podcasting/globalhealth-cafe/2013/04/player-3.html>